

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和2年度

施策コード	341	施策	健康づくりの推進
管理事業	成人保健事業	所管部局	健康医療部

1	所管室課	保健センター	事業名	検診事業
事業概要				
がん検診、結核検診、骨粗しょう症検診、聴力検診、B型・C型肝炎ウイルス検診、前立腺がん検診				
活動実績				
【乳がん読影システムのデジタル化に係る拡充】【感染症法に基づくB型・C型肝炎ウイルス検診による拡充】【胃がん検診の対象年齢に係る縮小】【ヘブシゲン胃検診の廃止に係る縮小】 感染症法や健康増進法やがん検診実施のための指針などに基づき、疾病の早期発見、早期治療により市民の健康保持を図るため、各種検診を実施した。 ・主な検診受診者数(受診率)				
			年度	令和2年度
			決算額(千円)	320,743
			一般財源の比率(%)	97.3
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
			・がんによる死亡者を減らすためには、がんの早期発見・早期治療に繋げる必要があることから、検診受診率の向上及びがん検診の精度管理が必要である。 ・乳がん検診においては、二次読影にかかる事務改善を図るために、令和3年度中のマンモグラフィのデジタル化に向けて調整、検討中。 ・新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発出等に伴い、各種検診の受診控えが顕著であったことから、全体的に受診者が減少しているため、広報・SNS等を通じて受診勧奨に努めていく必要がある。	※課題があるものは■ 今後の実施計画の方向性・内容 継続 がん検診等の重要性を周知し、積極的な受診勧奨に努める。
			胃がん検診	平成30年度…3,617人(7.3%) 令和元年度…3,186人(6.5%) 令和2年度…2,375人(6.6%)
			肺がん検診	平成30年度…19,541人(21.7%) 令和元年度…19,392人(20.9%) 令和2年度…16,389人(16.7%)
			大腸がん検診	平成30年度…26,473人(24.2%) 令和元年度…25,814人(22.6%) 令和2年度…22,203人(18.5%)
			子宮がん検診	平成30年度…11,959人(41.1%) 令和元年度…11,980人(39.2%) 令和2年度…11,403人(37.6%)
			乳がん検診	平成30年度…9,395人(44.1%) 令和元年度…9,325人(41.0%) 令和2年度…8,117人(37.7%)

2	所管室課	保健センター	事業名	健康診査事業
事業概要				
30歳代健康診査、生活習慣病予防健康診査、健康長寿健康診査、成人歯科健康診査、在宅要介護者・児訪問歯科健康診査				
活動実績				
(1)疾病の早期発見、生活習慣病の予防により、市民の健康保持及び増進を図るため30歳代健診及び生活習慣病予防健診、健康長寿健診を実施した。 ・健康診査受診者数 30歳代健診・生活習慣病予防健診 平成30年度…4,023人 令和元年度…3,584人 令和2年度…3,077人 健康長寿健診 平成30年度…15,528人 令和元年度…15,069人 令和2年度…14,113人 (2)歯科疾患の早期発見、予防により8020運動の達成者を増やし、市民の健康保持及び増進を図るため、成人歯科健康診査を実施した。また、定期的な通院が困難な要介護者を対象に訪問による歯科健診を実施した。 ・歯科健診受診者数 平成30年度…29,023人 令和元年度…29,482人 令和2年度…26,238人 ・訪問歯科受診者数 平成30年度…197人 令和元年度…204人 令和2年度…185人				
			年度	令和2年度
			決算額(千円)	185,117
			一般財源の比率(%)	95.1
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
			・30歳代健診、生活習慣病予防健診は、自身の健康状態を知る機会となり、健康の保持、生活習慣病の早期発見に寄与するものであるが、受診者数は年々減少傾向にあり。職場等で健診を受診する機会のない方に受診してもらえよう、関係機関等と連携して、本事業の周知を目指す必要がある。 ・健康づくり、介護予防において大切である豊かな食生活を送るためには、歯や歯ぐきの健康は欠かせないものであり、成人歯科健診の対象拡大や口腔機能向上に向けた取り組みが必要である。	※課題があるものは■ 今後の実施計画の方向性・内容 拡充 成人歯科健診の対象年齢の引き下げの検討が必要。

3	所管室課	保健センター	事業名	結核予防事業(成人保健)
事業概要				
結核検診(成人保健)				
活動実績				
結核の早期発見のため、65歳以上の市民を対象に市内協力医療機関において胸部エックス線直接撮影の検診を実施した。 平成30年度…17,652人 令和元年度…16,720人 令和2年度…15,071人				
			年度	令和2年度
			決算額(千円)	30,245
			一般財源の比率(%)	100.0
			事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性
			・法定事務として実施しているが、新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発出等に伴い、各種検診の受診控えが顕著であったことから、全体的に受診者が減少しているため、広報・SNS等を通じて受診勧奨に努めていく必要がある。	※課題があるものは■ 今後の実施計画の方向性・内容 継続

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名